

翻訳

カタルーニャ独立運動についての5つの嘘^{*}

データ分析学者のジョー・ブリューが
カタルーニャの独立運動について語られている5つの嘘について分析する

ジョー・ブリュー
訳 愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻教授
奥野 良知

イントロダクション

定量化が不可能な言説

科学の基本原則は「検証可能性」と「反証可能性」である。この世界を理解するために、科学者は理論を作り、その理論に反証をあげてみることでその理論を検証する。この方法—科学的方法—は、理論がそもそも反証可能であることを要求する。例えば、バートランド・ラッセルの有名な風刺的な理論では、太陽の周りを回っているミニチュアのティーポットが存在するのだが、そのティーポットはあまりに小さいので望遠鏡でも見えない、という話が出てくる。これは、全く反証可能な理論ではない。なぜなら、この理論を反証する手立てがないからである。それゆえ、この理論は科学的でない。

言説のなかには、定量化することができず、従って、反証することができないものがある。例えば、次のような発言を例としてあげよう。「ドナルド・トランプは良い大統領である」。個人的には、この発言に同意できないが、「良い」という形容詞の使用は個人的な意見から生じているので、私はこれが誤った発言であると証明することはできない。バートランド・ラッセルの風刺的な理論でティーポットが存在するというのと同じで、トランプの「良さ」と「悪さ」は、反証することができない。

定量化できない言説とは、推測に基づいた、不可

知の、あるいは単に主観的なものなのである。このような言説は、政治に非常に多く見られる。このような言説は、それ自体は悪いものではないが、それについて議論することはあまり生産的ではないことが多い。ある人が何か定量化できないことを主張し、別の人が「やはり同じように定量化できない」それとは反対のことを主張すると、その会話は、相手の視点を評価するための共通の基盤や共通の方法すらないまま終わってしまう。

私たちは皆、この種の会話をしたことがあるし、それが何ももたらさないことを知っている。

定量化可能な言説

幸いにも、あらゆることすべてが定量化できない訳ではない。政治において語られることの多くは定量化可能であり、従って反証可能である。驚くべきことに、データがいくつかの言説と現実との間に大きな違いがあることを示しているにもかかわらず、データを調べようとする人は少ない。政治家たちは、同じ言い回しを、しかもその多くが明らかに誤っている言い回しを何度も何度も繰り返す。そしてそのことが、人々に、その誤っている言説が真実であるかのような印象を残してしまう。あるいは、その誤っている言説が、単に意見の相違の問題であるかのような印象を残してしまう。つまり、それは決して単なる意見の相違の問題ではないにもかかわらず、定量化も認識もできないという印象を人々に与えてし

^{*}これは、Joe BREW, "Cinc mentides sobre l'independentisme català. L'analista de dades Joe Brew fa una radiografia de les cinc mentides que es diuen sobre el moviment independentista català", *VilaWeb*, 2019.05.03. (カタルーニャ語版) / Joe Brew, "Five lies about the Catalan independence movement. Data analyst Joe Brew reviews five lies that are told about the Catalan independence movement", *VilaWeb*, 2019.05.06. (英語版) の訳である。

^{**} □ は訳者による補足である。

^{**} 脚註はすべて訳者による訳註である。

もう。

何と情けないことだろう。政治家がこのようなやり方で私たちをだまし続けているにもかかわらず、私たちがそれを放置しているとは。私たちは歴史上最もデータが豊富な時代に生きているのだから、何らかの主張がなされる時、それは検証されるべきであろう。反証可能な言説は、それが誤っているのかどうか、反証されなければならない。そして、それが本当なのかどうか検証されなければならない。定量化可能な言説は、定量化されなければならない。

カタルーニャと定量的に誤っている言説

カタルーニャとスペインの政治を観察している人間として、データ・ジャーナリズムからほとんど何の反応もないままに、日常的に繰り返される嘘のレベルに、私はとても驚いている。多くの人々が定量的に誤っている言説を、それが単なる意見であるかのように扱っている。しかし、それは決して意見の相違などではないのである。ある政治家の「良さ」や、何らかの政治的結果の「望ましさ」については、人はどのようにでも好きに考えることができる。

しかし、データが決して支持を与えない解釈も存在する。

これらの定量的に誤っている言説には、もう一つ別の呼び名がある：それは、嘘、である。この論文

では、5つの嘘を調査したいと思う。

方法

この分析のために、私は、世論調査研究所 Centre d'Estudis d'Opinió (以下 CEO と記す)¹ の「政治的意見についてのバロメーター」 Baròmetre d'Opinió Política (以下 BOP と記す) を用いる。これは、カタルーニャについての非常に優れた最良のデータである。なぜ最良かという点、一つには、BOP の調査は調査員が直接行なっているからである。というのも、新聞の世論調査のほとんどは電話で行われており、電話での調査はかなりのバイアスを引き起こすからである。もう一つには、無加工の生データが公開されているため、それをダウンロードし、分析したりすることができ、従ってそれゆえに、様々な変数を交差させることが可能だという利点があるからである。そして、様々な変数を交差させるということこそ、この分析で私が行うことなのである。

私の BOP への信頼は、2019年4月28日のスペインの総選挙についての BOP の予測 — 3月に実施した調査に基づいている — と、4月28日の選挙結果を比較して、最近さら高まった。というのも、その予測の精度が驚くべき高さだったからである。[図1参照]。

分析結果

図1

2019年4月28日のスペイン下院選挙における CEO のカタルーニャでの議席の予測と同地での実際の選挙結果

	4月28日の結果	CEOの予測
カタルーニャ共和主義左派 ERC	15 (24,59%)	14-15 (24,5%)
カタルーニャ社会党 PSC	12 (23,21%)	11-13 (23,7%)
アン・クム・プデム CatECP	7 (14,89%)	7-9 (15,4%)
カタルーニャのための連合 JxCat	7 (12,05%)	5-7 (12,1%)
シウダダーノス Cs	5 (11,55%)	5-6 (11,7%)
国民党 PP	1 (4,85%)	2 (5,9%)
共和国統一戦線 FR	0 (2,75%)	0-1 (2,5%)
その他	1 (3,62%) [Vox]	* (3,6%)

1 世論調査研究所 Centre d'Estudis d'Opinió (セントラ・ダストウディス・ドゥピニオー) は、カタルーニャ自治政府 Generalitat de Catalunya (ジャーナリタット・ダ・カタルーニャ) の世論調査機関。

第1の嘘：カタルーニャの独立運動は反民主的である。

カタルーニャの主権主義者〔カタルーニャには同地がスペインから独立すべきか否かについての住民投票投票を行う権利がある、つまり外的自決権があると考える人〕²たちは、しばしば、カタルーニャの親スペイン派〔統一派＝独立反対派〕から民主的でないとい非難される。そのような非難の最たるものは、領土の分割に関する問題について投票したいと思うこと自体が「民主主義に対する攻撃」に等しい、という言説である。

しかし、独立派は統一派〔＝独立反対派〕よりも「民主的」ではないのだろうか？誰がどれくらい「民主的」であるかを定量化する直接的な方法は1つも無いが、これに関する良いデータはある。例えば、2018年の中旬にBOPが1500人のカタルーニャ人に、統治システムとしての民主主義についてどう思うかを尋ねている。

次の図〔図2〕は、そのアンケートについての結

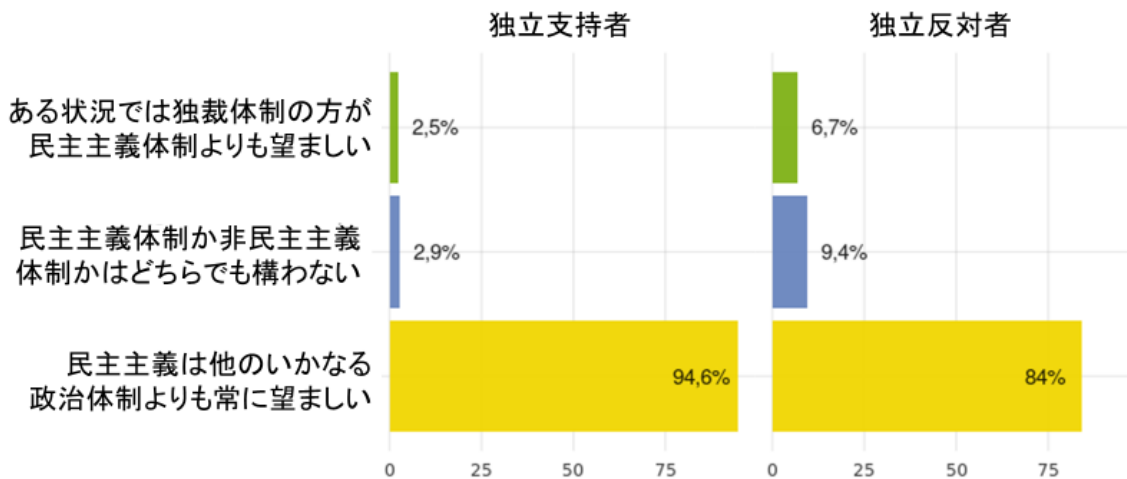
果を示したものである。あらゆるイデオロギーのカタルーニャ人の大部分は、民主主義の方をより好んでいる。しかし「民主主義は他のどの統治システムよりも常に望ましい」という言説に賛同している人たちの割合は、独立主義者の方が著しく高い。

つまり、〔図2に示されている〕民主主義についての意見に関するデータを考慮するならば、独立派のカタルーニャ人を「反民主主義的」だと非難することはできない。

第2の嘘：カタルーニャの独立運動は、反連帯の運動である。

前の言説とは異なり、これは、スペイン統一派〔＝独立反対派〕左派³が最も使う言説である。この言説では、カタルーニャの独立主義運動は、自分たちの財源を他の人たち〔＝他の自治州〕と共有したくないというカタルーニャ人たちの願望から生じている運動だとして、つまり、「連帯的」でない運動だとして非難される。

図2 民主主義への選好



2 訳注] 主権主義者(カタルーニャ語 sobiranista; 英語 sovereignist)は、ここでは、カタルーニャにはスペインから独立すべきか否かについての住民投票を行う権利(外的自決権)があると考える人のことであり、カタルーニャの政党でこの権利を党として認めているのは、次の独立派3党、カタルーニャのための連合 JxCat(独立派右派)、カタルーニャ共和主義左派 ERC(独立派左派)、人民連合 CUP(独立派急進左派)、と中間派で左派のカタルーニャ・アン・クム・プデム CatECP(左派新党で全国政党のポデモスの姉妹政党)である。ただし、中間派のアン・クム・プデムは、基本的には中央政府との合意の下での住民投票のみを認めている。全国政党でカタルーニャにこの権利を認めているのは、左派新党のポデモス Podemos であるが、アン・クム・プデム同様、基本的には中央政府との合意の下での住民投票のみを認めている。なお、カタルーニャにはスペインから独立すべきか否かについての住民投票を行う権利(外的自決権)があるかどうかという点については、本論の「第5の嘘」で扱っている。また、訳者が末尾に付したカタルーニャ州議会に議席を持つ政党のおおよその立ち位置を示した表も参照されたい。

3 ここでは、主としてスペイン社会労働党 PSOE とその姉妹政党であるカタルーニャ社会党 PSC を指している。これに対し、前の言説(「第1の嘘」)は、国民党 PP やシウダダーノス Cs などの右派のスペイン統一派(独立反対派)が主に使う。



〈左上のツイートの訳〉

ゴルカ・マネイロ⁴

独立主義、それは少数派の、非連帯の、犯罪的な運動 (エル・コンフィデンシアル紙⁵のカルロス・ヒメネス・ビリャレホ⁶の記事のタイトルをリツイートしたもの)

〈左下のツイートの訳〉

パブロ・アラングエーナ⁷

何年ものあいだ分離主義者の言説に何も答えていなかった国民党 PP の怠慢に対し、ジュゼップ・ブレイ [ペドロ・サンチェス社会労働党 PSOE 政権の前外務大臣]⁸ の態度は対照的である。反動的で非連帯の独立主義に対して一スペインの中でも外でも一戦わなければならない。

〈右上のツイートの訳〉

アレックス・ドラード・ナヘラ⁹

1. カタルーニャの独立主義は、カタルーニャのブルジョワジーや寡頭支配層を維持するためにこそ生まれたのである。カタルーニャの独立主義の非連帯的な側面はここから出てきている。
2. 領土の一部を分離するという事は、世界の民主主義のなかでも例外的なことだ。

〈右下のツイートの訳〉

ギリエルモ・ロサーノ¹⁰

独立主義にはいかなる左派的な大義もなく、独立主義は排他的で反動的で非連帯である。我々は決して独立派の

4 ゴルカ・マネイロ Gorka Maneiro : 元バスク州議会議員で、連合・進歩・民主主義 Unión Progreso y Democracia に所属していた。この政党は、スペイン・ナショナリズムの立場から地域ナショナリズムを激しく攻撃している。2019年の下院選挙以降、スペイン・ナショナリズム右派新党で、やはり同じくスペイン・ナショナリズムの立場から地域ナショナリズムを激しく攻撃し、画一的なスペインを目指しているシウダダーノス Cs と選挙連合および統一会派を組んでいる。

5 マドリードに本拠を置く保守系のデジタル経済新聞。

6 カルロス・ヒメネス・ビリャレホ Carlos Giménez Villarejo : スペイン・マラガ出身の検事。もともとポデモス Podemos との関係が深かったが、今はカタルーニャ社会党 PSC と密接な関係にある。

7 パブロ・アラングエーナ Pablo Aranguena は、ガリシア選出の社会労働党 PSOE の元下院議員。

8 ジュゼップ・ブレイ Josep Borrell : 1947年、ラ・ポップラ・デ・セグー La Poble de Segur (カタルーニャ) 生まれ。ペドロ・サンチェス社会労働党 PSOE 政権で、2018年6月から2019年11月まで外務大臣の職にあった。現在は欧州連合外務・安全保障政策上級代表。カタルーニャ生まれだが、その徹底した反カタルーニャ主義とスペイン・ナショナリズムで知られる。外務大臣として、2017年10月1日にカタルーニャで独立の是非を問う住民投票が行われた際のスペイン国家警察の投票に来た市民への暴力によって悪化したスペインの国際的イメージの向上に取り組んだが、その強引な世論操作には批判も多かった。

9 アレックス・ドラード・ナヘラ Álex Dorado Nájera : マドリード在住の政治コラムニスト。

10 ギリエルモ・ロサーノ Guillermo Lozano : スペイン・アラゴン在住の社会労働党 PSOE の活動家。

候補は支持しないし、常にそのことを主張してきた。

だが、それは確かなのだろうか？独立派のカタルーニャ人は統一派〔＝独立反対派〕よりも連帯的でない態度を示す傾向にあるのだろうか？

データはその逆を示している〔図3参照〕。カタルーニャ人は、独立派も統一派〔＝独立反対派〕も経済的連帯に賛成している。例えば、圧倒的な割合の人々が、所得格差を減らすための政府の努力を支持している。そして、その割合は統一派〔＝独立反対派〕よりも独立派の方が僅かに高い。

同じ理由で、〔図4にあるように〕カタルーニャ人の大半が、公共サービスが低下するのであれば、税金を下げることに反対している。そして、税金を下げ公共サービスを減らしたい人の割合は、実に、独立派よりも統一派〔＝独立反対派〕の方で高い。

つまり、独立派のカタルーニャ人も反対派のカタルーニャ人も連帯的な態度を示している。この二つのグループの間の違いは小さい。だが、違いは存在し、独立派の方が統一派〔＝独立反対派〕よりも僅かながらより連帯的である。

図3 「政府は所得格差を是正するための対策を講じるべきである」、同意するか否か

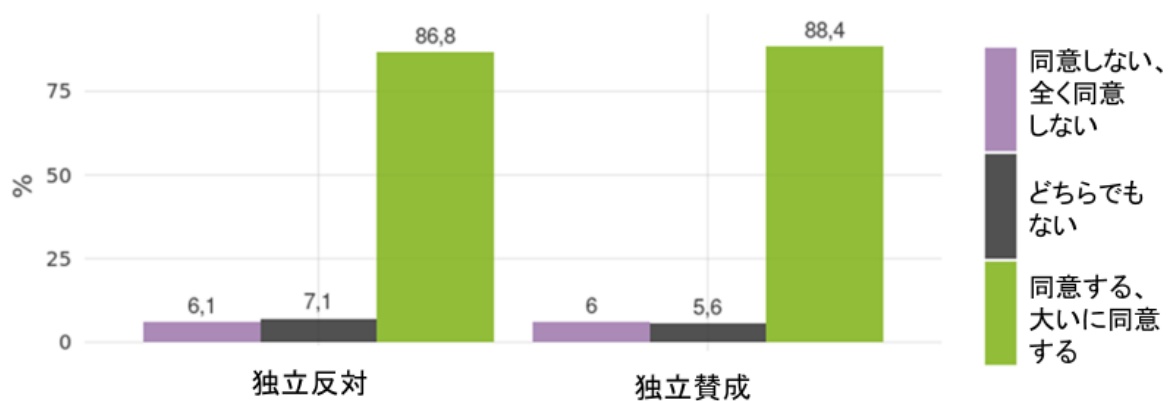
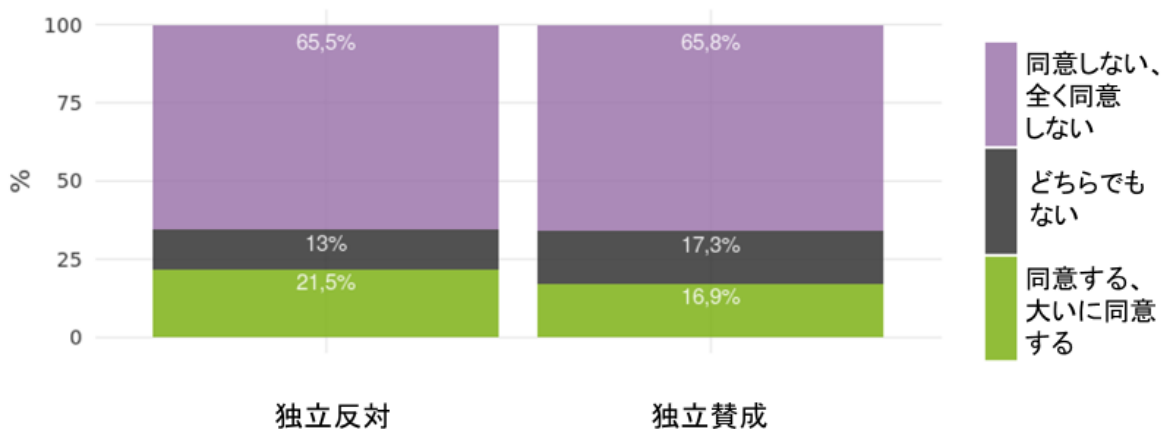


図4 「たとえ社会サービスが低下してでも税を下げるべきである」、同意するか否か



第3の嘘：カタルーニャの独立主義運動は右派的なものである。

これは私にとってカタルーニャの独立主義運動に対してなされている非難の中で最も驚くべきものの1つである。あらゆるアンケートが、〔図5にあるように〕カタルーニャの左派には圧倒的に独立派が多く、カタルーニャの右派には圧倒的に統一派〔=独立反対派〕が多いことを示している。

もしこれでも不十分だというなら、様々な政治的傾向をもつカタルーニャ人たちが、彼らの指導者をどう評価しているかということを検証することもできる。例えば、〔図6¹¹にあるように〕〔アンケート回答者の〕政治的イデオロギーの関数として、〔アンケート回答者の〕独立派政治家への評価の平均点を取ってみると、すべての独立派の政治家が明らかに右派からよりも左派から良い評価を得ていることがわかる。

では今度は、前の図〔図6〕とカタルーニャの統一派〔=独立反対派〕政治家へのアンケート回答者のイデオロギー別の評価を比べてみよう〔図7¹²参照〕。ここで分かることは、自分は中道や左派でありたいと思っている者も含めて、すべての独立反対派政治家が、右派のカタルーニャ人から非常に良い評価を受けているということである。

誰が「右派」かを定量化するに際して、もう一つの方法は、右派の独裁者だったフランシスコ・フランコの独裁体制への懐古〔の度合いを調べること〕である。〔図8にあるように〕フランコが「肯定的な」ことをしたと考えるカタルーニャ人の割合は、独立派の政党に投票した人たちより、統一派〔=独立反対派〕の政党に投票した人たちの方で圧倒的に高い。

11 図6に出てくる政治家について。

ジュンケーラス（ウリオル・ジュンケーラス Oriol Junqueras）：1969年、バルセローナ（カタルーニャ）生まれ。カタルーニャ共和主義左派 ERC。前カタルーニャ自治州政府副首相（2016年1月～2017年10月27日）。2017年10月27日の「カタルーニャ共和国宣言」後に当時の自治州政府閣僚に国家反逆罪で逮捕状が出た際には、当時の州政府首相のプッチダモンが提唱したベルギーでの亡命政府の設置には加わらず、スペインに留まる選択をし、2017年11月2日に予防的措置として刑務所に収監され現在に至る。2019年10月14日には横領罪で懲役13年の刑が宣告された。また、2019年5月26日の欧州議会選挙で、前州首相プッチダモンらと欧州議会議員として当選していたが、スペイン政府は彼らの欧州議会議員としての資格を認めなかった。だが、欧州司法裁判所は、2019年12月19日に、ジュンケーラスは当選したその日から欧州議会議員としての不逮捕特権があり、速やかに欧州議会議員としての活動を開始すべき、との判決を出した。これに対し、スペイン最高裁は、欧州司法裁判所の裁定に従わず、逆に欧州議会に対して、ジュンケーラスの欧州議会議員としての資格停止を要請し、EU議会議長サッソリは2020年1月6日この要請を認めて、ジュンケーラスの議員資格を停止した。

プッチダモン（カルラス・プッチダモン Carles Puigdemont）：1962年アマー Amer（カタルーニャ）生まれ。カタルーニャのための連合 JxCat。前カタルーニャ自治州政府首相（2016年1月～2017年10月27日）。2017年10月27日の「カタルーニャ共和国宣言」後に当時の自治州政府閣僚に国家反逆罪で逮捕状が出た際には、ベルギーに亡命政府を設置することを主張し、他の数人の閣僚らとベルギーに亡命した。現在、「共和国のための委員会 Consell per la República」代表。欧州司法裁判所の2019年12月19日のジュンケーラスに対する判決を受けて、翌日、欧州議会は、プッチダモンに欧州議会議員としての資格を認め、現在プッチダモンは欧州議会議員として活動している。

ルビーラ（マルタ・ルビーラ Marta Rovira）：1977年ビック Vic（カタルーニャ）生まれ。カタルーニャ共和主義左派 ERC 総書記。前カタルーニャ州議会議員（2012年12月～2018年3月22日）。国家反逆罪で起訴され、2018年3月23日にスイスに娘と共に亡命。

トーラ（ジュアキム・トーラ Joaquim Torra）：1962年ブラーナス Blanes（カタルーニャ）生まれ。カタルーニャのための連合 JxCat。2018年5月17日より、プッチダモンからの後継指名を受けて、カタルーニャ自治州政府首相。

12 図7に出てくる政治家について。

アリマダス（イネス・アリマダス Inés Arrimadas）：1981年ヘレス・デ・ラ・フロンテラ Jerez de la Frontera（アンダルシア）生まれ。シウダダーノス Cs。前カタルーニャ州議会議員（2012年12月～2019年5月）。カタルーニャ州議会野党筆頭（2015年10月～2019年5月）。スペイン下院議員（2019年5月～）。シウダダーノス下院議員団のスポークパーソン。

フェルナンデス（アレハンドロ・フェルナンデス Alejandro Fernández）：1976年タラゴナ Tarragona（カタルーニャ）生まれ。国民党 PP。カタルーニャ州議会議員（2015年10月～）。2018年10月より国民党カタルーニャ支部の代表。

イセータ（ミケル・イセータ Miquel Iceta）：バルセローナ（カタルーニャ）生まれ。スペイン社会労働党 PSOE の姉妹政党であるカタルーニャ社会党 PSC のカタルーニャ州議会議員（1999年11月～）。2014年7月よりカタルーニャ社会党第一書記。

バイス（マヌエル・バイス Manuel Valls）：1962年バルセローナ（カタルーニャ）生まれ。フランス社会党所属の元フランス国民議会議員（2002年～2018年10月）。フランス政府首相（2014年～2016年）。2019年5月のバルセローナ市長選挙にシウダダーノス Cs の候補として立候補し、落選。2019年6月からバルセローナ市議会議員。

図5 アンケート回答者の思想傾向（右か左か）と独立賛成か反対か
質問:「極左が0、極右を10とした場合、あなたはどこに位置しますか」

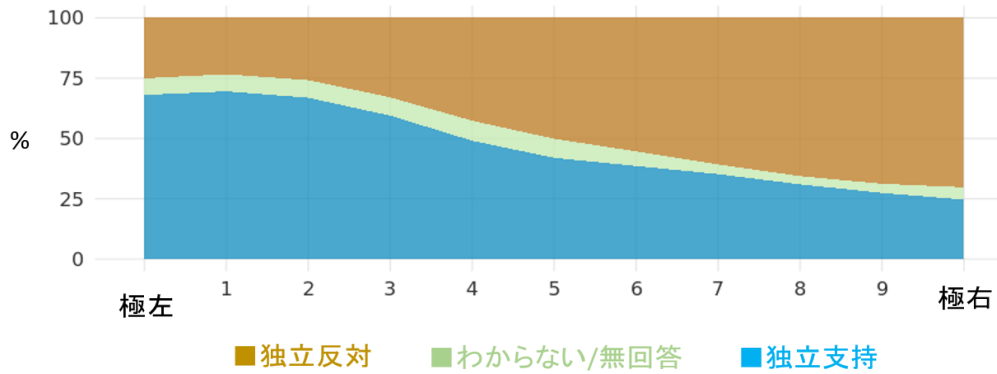


図6 アンケート回答者（イデオロギー別）の独立派政治家への評価
ジュンケーラス プッチダモン

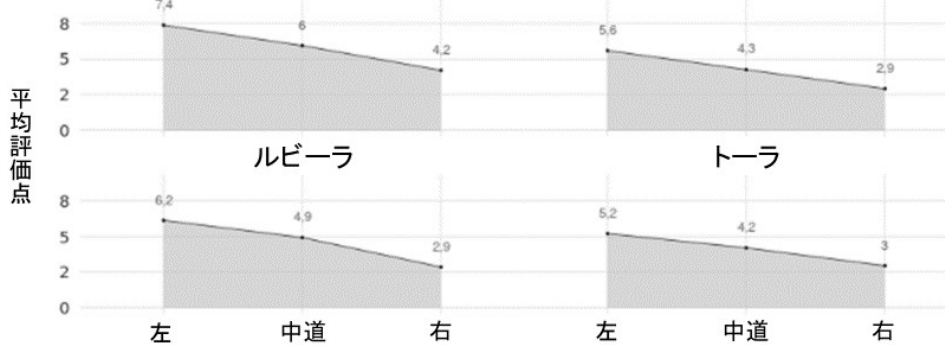


図7 アンケート回答者（イデオロギー別）の独立反対派政治家への評価

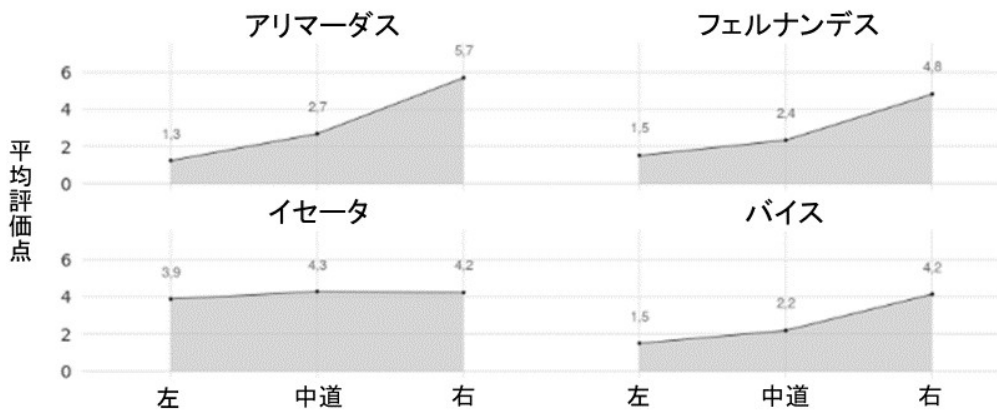
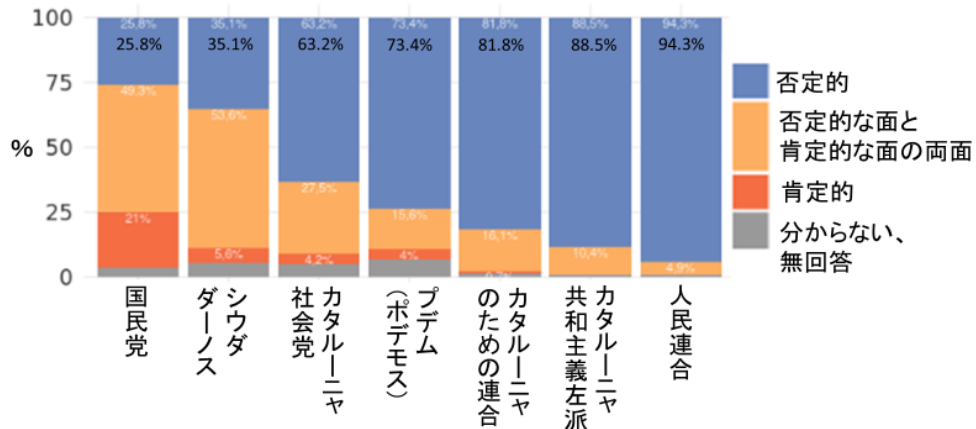


図8 政党別の支持者のフランコ独裁体制への評価

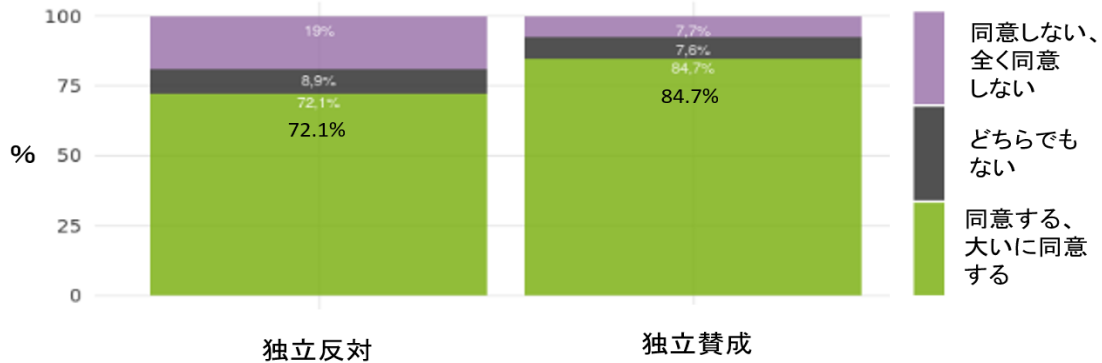
あなたにとって、フランコ独裁時代は、カタルーニヤの歴史において全体的に見て、肯定的な時代だったか、否定的な時代だったか、肯定的な面と否定的な面の両面があったか



最後に、右派のイデオロギーを測るもう一つの方法は、それ〔右派のイデオロギー〕を社会問題と突き合わせることだ。例えば、〔図9に示されている

ように〕LGBTの人たちの権利について、カタルーニャの独立主義者たちは、同地の統一派〔=独立反対派〕よりもはるかに進歩的かつ左派的である。

図9 ゲイやレズビアンのカップルは、異性間のカップルと同じ条件で、養子を持つことができるべきですか？



第4の嘘：カタルーニャの独立主義は排外主義的運動である。

政治家の中には、特に〔スペイン・ナショナリズムの〕右派の政治家の中には、しばしば独立主義を排外主義的で〔カタルーニャ〕至上主義な運動であると批判する者がいる。

〈左上のツイートの訳〉

ガジェターノ・アルバレス・デ・トレード¹³

〔2017年6月26日のラジオ局オンダ・セロのインタビューで、カタルーニャのブラーナス Blanes の市長ミケル・ルピアーニェスがカタルーニャとスペインの違いをデンマークとマグリブの違いに例えたことを受けて〕



13 ガジェターノ・アルバレス・デ・トレード Cayetana Álvarez de Toledo：1974年、マドリード生まれ。国民党 PP の下院議員で、2019年4月と11月の総選挙では、いわゆる落下傘候補として国民党のバルセローナ選挙区の第1位候補として出馬し、当選している。現在、国民党下院議員団のスポークスパーソン。

このインタビューは、カタルーニャの一部を腐敗させている排外主義的妄想が反映された最たるものである。

〈左下のツイートの訳〉

アルベルト・リベラ¹⁴ 2017年12月4日
我々カタルーニャ人は、世界に向けて説明しなければならない。

〔カタルーニャの〕このイメージの変化の背後にあるのは、〔カタルーニャ〕至上主義の意識がこの〔独立〕運動を定義づけているということである。それは、過去30年以上に渡って〔カタルーニャ自治州の〕公共放送や〔カタルーニャ自治州の〕教育制度でのプロパガンダの中に見受けられてきた。この公共放送や教育制度は、5年前〔2012年〕に始まった分離運動のための洗脳装置として使われている。

〈右上のツイートの訳〉

イネス・アリマーダス¹⁵
〔カタルーニャ自治州議会元議長のヌリア・ダ・ジスペルト¹⁶がカタルーニャ的なものをことごとく否定するアリマーダスに対して「〔アリマーダスは〕カタルーニャでの居心地が悪いのだろう。出身地が恋しいのだろう。誰がここにいることを強制しているというのか」とツイートしたことを受けて〕
ナショナリズムとはこれだ。つまり、至上主義、排外主義、憎悪。この女性、カタルーニャ自治州政府の元閣僚で、自治州議会の元議長だったこの女性が、公然と何のためらいもなく私をカタルーニャから追い出そうしたことこ

そ、私たちが苦しんでいる社会の断絶を表している。

〈右下のツイートの訳〉

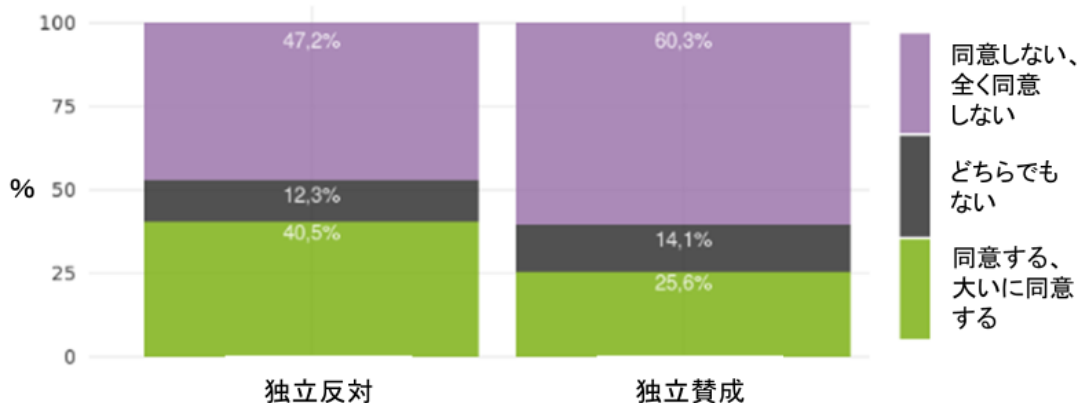
アルベルト・ボアデーリャ¹⁷
多くの人が憤慨したように、私もジスペルト氏の発言には驚かされた。我々は真剣にならねばならない。ナショナリズムは排外主義とは異なるものだと本当に考える人がいるだろうか。

彼らは正しいのだろうか？排外主義と〔カタルーニャ〕至上主義を定量化することは難しいが、不可能ではない。幸いにも、BOPがこの問題の核心をつく質問をしている。それは、「こんなに移民がいては、自分の家にいるような気がしない」という極めて排外主義的（外国人嫌い）なフレーズに賛成か反対かの度合いを尋ねるものである。

下記のデータ〔図10〕は、カタルーニャで排外主義の割合が高いことを示していて、カタルーニャ人の約3人に1人が移民が原因で「自分に家にいる気がしない」と感じている。しかしながら、排外主義の割合は独立に賛成の人よりも反対の人の方で1.6倍も大きい。

これを政党ごとに調べると、カタルーニャの排外主義（外国人嫌い）の源泉をより正確に指摘するこ

図10 「これほど移民が多くては、我が家にいる感じがしない」、同意するか否か



14 アルベルト・リベラ Albert Rivera: 1979年、バルセローナ生まれ。2006年から2019年11月までシウダダーノスCsの代表。元カタルーニャ自治州議会議員（2006年～2015年）。元下院議員（2016年～2019年12月）。

15 註12参照。

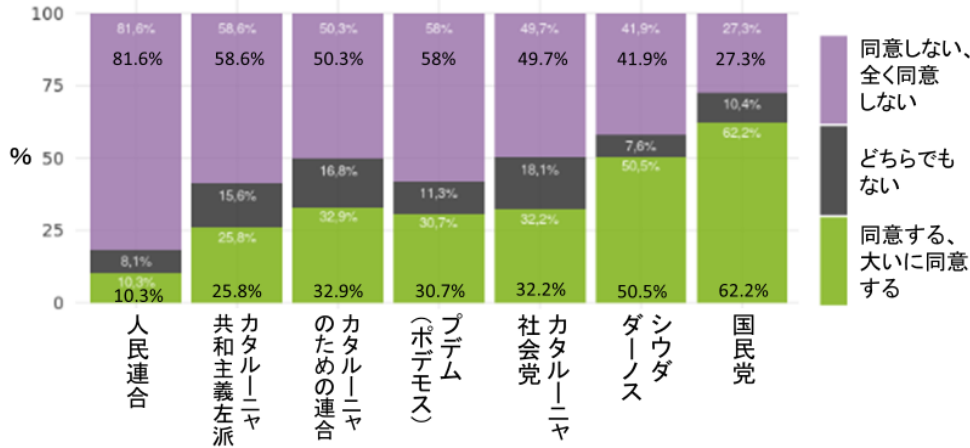
16 ヌリア・ダ・ジスペルト Núria de Gispert: 1949年、バルセローナ生まれ。元カタルーニャ自治州議会議員（2010 - 15年）。

17 アルベルト・ボアデーリャ Albert Boadella: 1943年、バルセローナ生まれ。俳優、劇団主催者。シウダダーノスCsの創設者の一人。

とができる。〔図 11 にあるように〕、皮肉なことに、独立運動を排外主義だとしばしば非難する政治家がいる政党は、実際には、排外主義の割合がより高い

政党である。カタルーニャで国民党 PP やシウダーノス Cs に投票した人の大半が移民について排外主義（外国人嫌い）的な考えを示している。

図 11 「これほど移民が多くては、我が家にいる感じがしない」、同意するか否か（政党支持者別）



第5の嘘：カタルーニャ人は実のところ独立の是非を問う住民投票を望んでいない。

統一派〔=独立反対派〕の政治家、ミケル・イセータ¹⁸は、スペイン社会労働党 PSOE 政権のものとは「独立はないし、独立の是非を問う住民投票もない。なぜならカタルーニャ人はそれを望んでいないからだ」と最近発言した。

に賛成している。

イセータの言説を特に奇妙なものにしていることの1つは、〔図 15 が示しているように〕彼の政党〔カタルーニャ社会党 PSC〕を支持しているカタルーニャ人の中で、住民投票に賛成している人が50%以上〔59.9%〕もいるということである。

この発言は単純に嘘である。

独立を求めるカタルーニャ人の人数に関しては、〔図 12 が示しているように〕最新のデータは、独立を求めている人の方が求めている人よりも多いことを示している。



もし今、「はい」か「いいえ」の2択で住民投票があるとすると、〔図 13 にあるように〕独立賛成が4.6%上回る。

イセータの発言は、彼の、カタルーニャ人が独立を求めているかどうかについての発言が間違っているだけでない。彼の、カタルーニャ人は住民投票を求めている、とする発言が特に間違っているのである。カタルーニャ人たちは住民投票を求めているのである。〔図 14 にあるように〕、78.7%の回答者が次のフレーズ「カタルーニャ人は国 (país)¹⁹として住民投票でその将来を決める権利を持っている」

18 註 12 参照。

19 país はここでは、「主権=自己決定権を持つ政治的主体としてのネーション」とほぼ同じ意味で用いられている。

図 12 独立に賛成か反対か（3択） 2019年3月

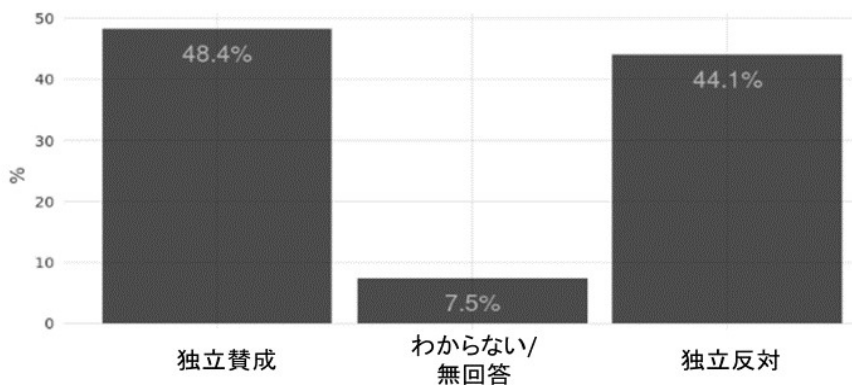


図 13 独立に賛成か反対か（2択） 2019年3月

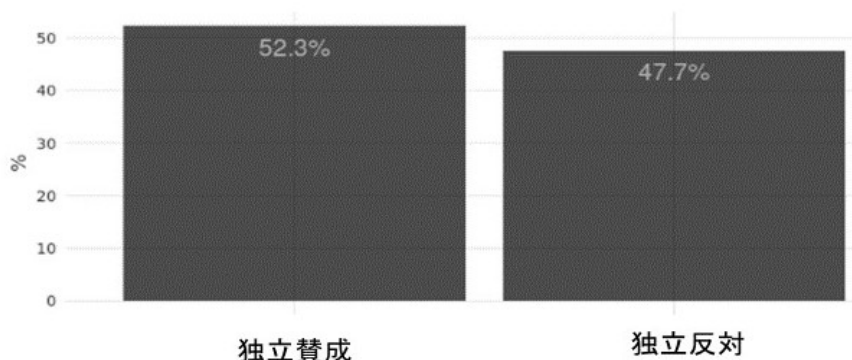


図 14 「カタルーニャ人は国（país）として住民投票でその将来を決める権利を持つ」同意するか否か

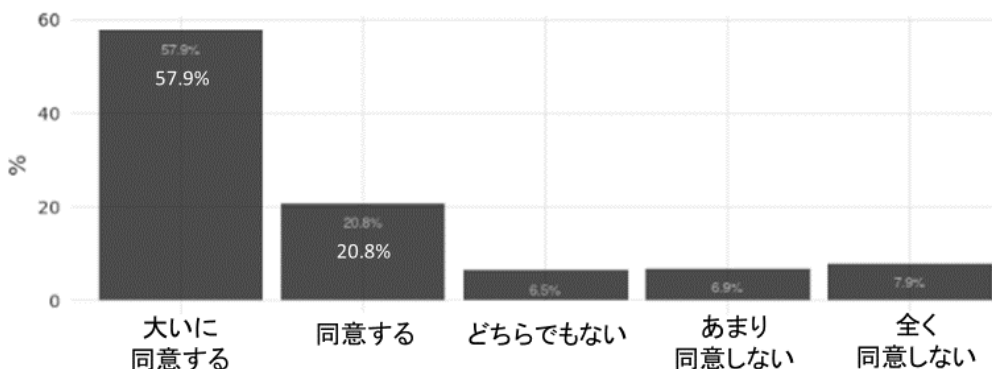
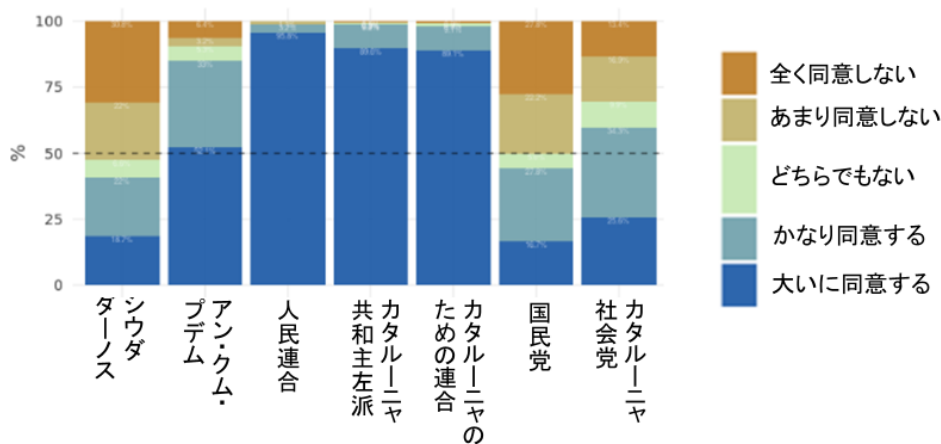


図 15 「カタルーニャ人は国（país）として住民投票でその将来を決める権利（外的自決権）を持つ」同意するか否か（政党支持者別）



結論

何が真実かということが党派的な問題になってはならない。独立運動とは何かを明確に理解するために、何も独立主義者になる必要はない。事実、独立主義は問題だと考える人こそ、その運動について繰り返される嘘や誤った記述について、最も懸念してしかるべきであろう。結局のところ、ある「問題」の正しい「処置」には、何が問題となっているのかについての正しい「診断」が必要とされるのである。

独立主義は、排外主義で、非民主主義で、非連帯で、右派で、少数派の運動なのか？ 違う。データは明快に、独立主義はそのようなものではないことを示し

ている。この点に関してあなたが個人的にどう感じようと、政治的言説において、何が真実なのかということについて心を砕き、嘘を警戒しなければならない。カタルーニャにおける現在の危機への解決策は、すべての関係者が、まず真実を真実として認識し、その後、この真実に従って法律を制定する時にもたらされるだろう。

訳者による補足

次の表は、カタルーニャ州議会に議席を持つ政党のおおよその立ち位置を表にしたものである。

カタルーニャの諸政党の基本的な立ち位置

	政党	議席	右左	一方的路線	独立	自決権	ネイション	教育制度
独立派	人民連合 (CUP)	4	左	○	○	○	○	○
	カタルーニャのための連合 (JxC)	34	右	○→△	○	○	○	○
	カタルーニャ共和主義左派 (ERC)	32	左	○→×	○	○	○	○
中間派	カタルーニャ・アン・クム・プデム (CatECP)	8	左	×	△	○	○	○
反対派 (統一派)	カタルーニャ社会党 (PSC)	17	左	×	×	×	○	○
	シウダダーノス (Cs)	36	右	×	×	×	×	×
	国民党 (PP)	4	右	×	×	×	×	×

議席数：2017年12月21日のカタルーニャ州議会選挙での結果

一方的路線：共和国建設を一方的に進めていくべきか、住民投票を再度、今度は中央政府との合意に基づく形で行うべきか。

自決権：カタルーニャに自己決定権はあるか。

ネイション：カタルーニャはネイションか。(PSCは自決権は認めていない)

教育制度：カタルーニャ語を教育言語としているカタルーニャの教育制度を支持するか。

カタルーニャ州議会に議席を持つ政党の正式名称と略号一覧

政党名の訳	政党の正式名称	略号
人民連合	Candidatura d'Unitat Popular	CUP
カタルーニャのための連合	Junts per Catalunya	JxCat / JxC
カタルーニャ共和主義左派	Esquerra Republicana de Catalunya	ERC
カタルーニャ・アン・クム・プデム	Catalunya en Comú-Podem	CatECP / CCEP
カタルーニャ社会党	Partit dels Socialistes de Catalunya	PSC
シウダダーノス	Ciudadanos/Ciudadans	Cs
国民党	Partido popular	PP

カタルーニャ社会党は、スペイン社会労働党 Partido Socialista Obrero Español (PSOE) の姉妹政党。

カタルーニャ・アン・クム・プデムは、ポデモス Podemos の姉妹政党。